

令和 8 年度 第 1 回松江市スポーツ推進審議会 会議録

1 日 時 令和 8 年 7 月 15 日（水） 10 時 00 分～11 時 09 分

2 場 所 松江市役所 第二常任委員会室

3 出席者

(1) 委員（11 名） ※欠席 2 名

松浦会長、西村副会長、安部委員、今井委員、上田委員、高梨委員、
福田委員、星委員、三島委員、山縣委員、湯町委員

(2) 事務局（8 名）

松江市 文化スポーツ部 加納部長

スポーツ振興課 上山課長、昌子係長、井ノ下、三原、江戸、岩倉

スポーツ施設課 石田課長

4 次 第

1 開会

2 委員紹介

3 あいさつ

4 議事

(1) 第 3 期松江市スポーツ推進計画 成果指標の修正について

5 報告事項

(1) 令和 8 年度の取組について

- ・ 第 3 期松江市スポーツ推進計画実施計画進捗
- ・ 松江スポーツコミッション活動報告
- ・ こどもへのスポーツ体験の提供
- ・ 身近な場所で行うスポーツの推進

6 その他

7 事務連絡

8 閉会

5 議事等の要旨

(1) 議事

第 3 期スポーツ推進計画の成果指標について、事務局から提案を行い審議した。

(2) 報告事項

第 3 期松江市スポーツ推進計画の成果指標の実績値並びに令和 7・8 年度の取組
について、事務局から報告を行った。

6 会議経過 別紙のとおり。

7 所管課 松江市文化スポーツ部スポーツ振興課（電話 0852-55-5296）

会議経過

[10 時 00 分 開会]

1 開会

○事務局（昌子係長）

ただいまより令和 8 年度第 1 回松江市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。
本日、議事に入るまで進行させていただきます、スポーツ振興課の昌子でございます。
よろしくお願いいたします。

本日の審議会でございますが、会議は公開の会議とさせていただきます。報道機関をはじめ、一般市民の方も傍聴可能となりますこと、最初にお知らせをさせていただきます。
なお、会議は概ね 60 分程度の 11 時を終了予定としております。

2 委員紹介

○事務局（昌子係長）

まず次第の 2、委員紹介でございます。

令和 8 年度第 1 回松江市スポーツ推進審議会委員名簿をご覧ください。

この度、2 名の方が新たに委員になりました。

まず名簿の 2、山陰中央テレビジョン放送株式会社前取締役の森山委員に代わり、同じく、山陰中央テレビジョン放送株式会社執行役員事業プロデュース局長の今井章智様を委員として、次に、名簿の 8、一般社団法人松江観光協会前専務理事の大塚委員に代わり、同じく一般社団法人松江観光協会専務理事の藤岡成輝様を委員として委嘱させていただきます。

よろしくお願いいたします。

3 あいさつ

○事務局（昌子係長）

それでは、今井委員から一言ご挨拶をお願いいたします。

○今井委員

山陰中央テレビで事業の方を担当してます今井と申します。

皆様には日頃から様々なことでお世話になっており、ありがとうございます。

今年からスポーツ推進審議会の方と、スポーツコミッションの方でお世話になります。
よろしくお願いいたします。

我々としても毎年、レディースマラソンなど続いてやっておりますので引き続きよろしくをお願いします。

○事務局（昌子係長）

ありがとうございました。

なお、今井委員、藤岡委員の任期につきましては前任の森山委員、大塚委員の残任期間となりますので、他の委員の皆様と同じ令和8年の8月28日まででございます。

出席の状況についてですが、本日は、松江市レクリエーション団体連合会の坂元委員、一般社団法人松江観光協会の藤岡委員の2名の方が所用のためご欠席となっております。

定員総数13名のうち、11名の出席となっており、松江市スポーツ推進審議会規則第3条により、過半数の委員の皆様のご出席をいただいておりますので本会議が成立しておりますことを申し添えます。

それでは、松江市文化スポーツ部加納部長よりご挨拶を申し上げます。

○加納部長

皆様おはようございます。

今年の4月から参りました。加納と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今日はお忙しいところ今年度の第1回目の審議会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。

今年度は令和7年度から6年間を計画期間といたします、第3期スポーツ推進計画の2年目に当たります。

この第3期計画を基本にいたしまして、本市のスポーツ振興に向けて皆様とともに取り組みを進めて参りたいと思っております。

昨年3月に設立しましたスポーツコミッションにつきましても、今年で2年目を迎えますが、今年の5月11日にはスポーツの力とまちの力をかけ合わせて私たちができることを見つけようということをテーマに、第7回交流ミーティングを開催させていただきました。

昨年度末には、スポーツボランティアバンクの方も創設をいたしまして市内で開催されるスポーツイベントの一層の活性化を図って参りたいと考えております。

今後もスポーツコミッションを通じまして、関係する各種団体の皆様との繋がりづくり、さらに大会や合宿の誘致支援の取り組みを進めまして、スポーツの力を持って松江を盛り上げていきたいと考えております。

昨年の12月に開催いたしました国宝松江城マラソンにつきましては、フルマラソンで約4,600名の方にご参加をいただいております、ファンランにも約300名の方、合わせて約4,900名程度の方にご参加いただいております。

今年の12月にも開催いたしますが、フルマラソンでは昨年よりも500名多い5,000名

を定員に設定し、6月1日から受付を始めましたが、すでに4,000名程度の方がエントリーされている状況でございます。

今年で7回目を迎えます、この国宝松江城マラソンも国内でもかなり認知度が上がってきているのではないかというふうに感じているところです。

今後も様々なスポーツ活動を通じまして松江のまちづくりを進めて参りたいと思っておりますので、皆様方には引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今日はよろしくお願いいたします。

4 議事

○事務局（昌子係長）

それでは、ここからは進行を松浦会長にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○松浦会長

改めまして皆さんおはようございます。

皆さんにおかれましては第1回松江市スポーツ推進審議会にお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

会長を務めさせていただいております松浦でございます。

また、副会長には島根大学の西村先生にお世話になってるところでございます、2人協力しながら進行を務めさせていただきたいと思っているところでございます。

さて、毎日暑いことでございまして、顔を見るたびに、「暑い暑いお前どうしちょうや」というような会話が日常的に交わされてるのが現状でございます。

一方でスポーツ界も非常に盛り上がっているところでございまして、テレビ中継の時間も多くなり、またワールドカップも今行われているところでございます。大変皆さん興味深い部分、多方面にわたりいろいろなスポーツに取り組まれておられると思っているところでございます。

スポーツ推進審議会でございますけれども、いろいろ皆さんのご意見を伺いながら、事務局で組み立てをしたものについて枝葉をつけていたりしているところでございます。

こうして見ると余りにも多い。スポーツに関する行事が余りにも多い。この上にさらに広げていいのかなのか、やはりそういう検討をする時期にも来ているのではないのか。決して火を消そうと思っているわけではございません。

盛り上がっていただいて、なおかつ、内容のあるものができれば我々の責任が果たせるかなと思っているところでございますので、どうぞ皆さんの忌憚のないご意見をいただく中で進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

レジメに従いまして、議事の第3期松江市スポーツ推進計画成果指標の修正について説明をお願いします。

○事務局（上山課長）

スポーツ振興課の上山でございます。

私の方から、松江市スポーツ推進計画の成果指標の修正についてご説明をさせていただきます。

資料①をご覧ください。第3期松江市スポーツ推進計画は、令和7年度から12年度の計画となっておりますが、このうちの目標値2点を修正することについて、ご審議をいただくものでございます。

1点目ですが、基本目標の②、基本施策の②、スポーツによるシビックプライドの醸成の成果指標でございます。

島根スサノオマジックの平均観客数について2030年の目標値を1試合4,000人から1試合4,500人に修正するものでございます。

これにつきましては、松江市総合体育館の改修工事が2026年8月に完了いたしまして、そこから座席数が約5,000席に増えることから目標値を上方修正するものでございます。

2点目が、スポーツボランティア登録者数の指標でございます。

これにつきましては、成果目標について登録制度を創設後に設定とさせてもらっていましたが、今年の3月にこちらの制度が創設されたため、成果目標については2030年の国スポ全スポにおいて必要とされるボランティア数を、大津市を参考に想定したところ、1,000人程度必要ということから目標値を1,000人としたものでございます。

以上2点の修正が審議事項となります。

計画初年度となる令和7年度の実績値についてもこの表に掲載しております。

令和6年度数値と比較した増減の理由については備考のところに示しております。これにつきまして4点ほど説明をさせていただけたらと思います。

○松浦会長

どうぞ。

○事務局（上山課長）

はい。基本目標の②でございます。

活発な地域交流に繋がる市民体育祭の開催のところでございます。目標値については、令和8年度までに新たなあり方を検討し今後設定としております。

これにつきましては当時、新たなあり方を検討した経緯について令和6年度に地区対抗大運動会の開催に対しまして、各地区の地域体協の方から否定的な声がありました。今後継続していくか、その当時検討中であったということがございます。

令和 6 年度に 8 年ぶりに大運動会を開催いたしまして時間も半日に変更、これもある意味、新たなあり方ととらえることもできるかと思えますけれども、半日に変更して実施しましたところ、開催継続についての否定的な意見が少なかったことから、今年度についても大運動会を開催する予定としております。今年度の実績を踏まえて目標の見直しを検討していこうと考えております。

次に基本目標③のスポーツによる国内の交流事業の実施回数でございます。

例年行っております宝塚市、尾道市との交流事業に加えまして、松江城マラソン、レディースハーフマラソンを通じた交流により数値が上昇したものでございます。

基本目標③、基本施策②のスポーツによる国際交流事業の実施回数でございます。

令和 6 年度について数値が上がっておりますが、これは例年行っている太極拳の大会での交流に加えまして、日米中学生バスケットボール交流事業、それから S I S アカデミーが台湾との野球交流を行ったというところで、こちらが令和 7 年度については開催がなかったため減少したものとなっております。

推進計画の修正についての説明は以上となります。

審議事項 2 点について、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○松浦会長

ただいま説明がございましたが、このことにつきまして何かご質問があれば、この部分はもっと説明して欲しいとか、こう思っていたのに違っていたとか、何かあればどうぞ。よろしいですか。無いようでございますが西村先生よろしいですか。

○西村副会長

はい。

○松浦会長

議事につきまして成果指標の修正の提案をいただきました。

修正案、原案通り決定をしてよろしいでしょうか。

〔委員一同 うなづく〕

○松浦会長

大変ありがとうございました。

それでは議事につきましては、修正について原案通り決定をさせていただきました。

続いて報告事項に入らせてください。令和 8 年度の取組みについて順次、事務局から説明をお願いします。

○事務局（上山課長）

令和 8 年度の取り組みについてご説明させていただきます。資料の②をご覧ください。

こちらは、第 3 期の実施計画の一覧表となっており左端に基本目標、それから基本施策、これまで進めていた継続の取り組みと新規の取り組みにそれぞれ分け、すでに取り組みがあるものについては○をして備考欄に具体的な内容を記載しているものでございます。

継続している取り組みにつきましてはそれぞれ確認していただければと思います。

令和 8 年度から取り組んでいるものを中心に順番にご説明をさせていただきます。

別紙の資料としている事業、松江市スポーツコミッション活動報告、こどもへのスポーツ体験の提供、昔の遊び体験会とスポーツ体験会及び身近な場所で取り組めるスポーツの推進。これらについては、この進捗一覧の説明の後に詳細についてご説明をさせていただきます。

一覧の 1 ページ目、ナンバー 10 でございます。こどもへのスポーツ体験の提供。こちらは昔の遊び体験会とスポーツ体験会が対象になります。両事業とも昨年度のスポーツ推進審議会の皆様方からいただいた意見やヒアリングの結果をもとに内容を検討しており、今年度からモデル事業を開始いたします。後で別紙でご説明をさせていただきます。

ナンバー 15 身近な場所への距離表示、ナンバー 16 松江ならではのスポーツの推進。これについては、市内各地区でイベント等で利用されているもの、またおすすめのウォーキングコースを集約してホームページの公開準備を進めているところでございます。こちらについても後で別紙でご説明をさせていただきます。

ナンバー 17 でございます。スポーツの巡回指導（ラジオ体操、まつえっこ体操など）については昔遊び体験とスポーツ体験、こちらの取り組みがスポーツの巡回指導にも該当するものとし、取り組んでいるとして○を記載しております。

2 ページ目のナンバー 32 でございます。公民館など地域におけるスポーツ事業の推進でございます。こちらにも昔の遊び体験会スポーツ体験会、こちらについては、地域スポーツ体育協会、公民館事務局を中心とした事業となっておりますので、地域におけるスポーツ活動の活性化に寄与するものであることから取り組んでいるとし、○を記載しております。

ナンバー 44 海外とのスポーツ交流でございます。今年度は 8 月 3 日から 7 日まで日独スポーツ少年団交流の方を予定しております。

この交流事業については青少年教育の促進と両国の文化交流のため、日本スポーツ少年団が中心となって実施している事業でございます。日本とドイツ両国の少年団約 100 名が互いに約 2 週間訪問し、その内、地方プログラムについて松江市に回ってきたものでございます。人数については 8 人で 5 日間滞在するものになります。

3 ページ目。ナンバー 47 でございます。スポーツコミッションによる観光連携事業。こちらについては、令和 7 年度から実施しているものでございますが、4 大会でこれまで連

携事業を実施しております。これについても後で別紙でご説明をさせていただきます。

ナンバー50 スポーツコミッションを通じた新規事業の創出。松江スポーツコミッションの事業の一つである、交流ミーティング「だんすぽ」の開催でございます。令和7年度までに6回実施しており、今年度も5月11日に開催したところでございます。

ナンバー51 はナンバー16 と同じ再掲でございます。

ナンバー52 スポーツツーリズムをテーマとした外国人観光誘客の促進でございます。こちらは、令和7年度から実施しているものでございます。外国人ランナーの募集を開始いたしまして昨年度は48名の参加がございました。今年度以降も引き続き外国人ランナーの募集をしていきます。

ナンバー58 でございます。スポーツコミッションによる大会合宿の誘致開催支援でございます。これも令和7年度から、大学生合宿エージェント訪問を実施しており、今年度も実施予定でございます。こちら後で説明をさせていただきます。

ナンバー59 ボランティアバンク制度の創設でございます。こちらは今年の3月に創設いたしました。現時点の登録者数は22人となっております。今後、関係各所に呼びかけを行い登録者数をふやす取り組みを行っていく予定でございます。こちら別紙で後で説明をさせていただきます。

ナンバー63 一番下のところでございます。大学との連携による学生指導者の育成。昔の遊び体験会は大学生の指導者の協力を想定しているところでございます。今年度のモデル事業で大学との連携方法についても詰めていきたいと考えているところでございます。

ページめくりまして、ナンバー77 スポーツサークルや練習会に関する情報の一元化でございます。令和8年3月にスポーツコミッションでホームページを作成いたしました。今後、市内のスポーツに関する情報を掲載していく予定でございます。その中でこの目標を達成することを検討して参りたいと考えております。

ナンバー85 ネーミングライツによる財源確保でございます。こちらについては、松江総合運動公園内のスポーツ施設5施設が島根トヨタグループと、島根総合公園運動広場が三原住設工業と5年間のネーミングライツ契約を締結したところでございます。

ナンバー87 利用者ニーズに沿ったスポーツ施設情報の提供でございます。こちら、松江スポーツコミッションでホームページの方で市内スポーツ施設の一覧を作成しております。従来のホームページで載せている情報に加え、より多くの情報を見やすく整理し公表しているところでございます。

ナンバー88 中央競技団体正規視察。これは国スポの推進の取り組みでございます。計画策定時点においては、国スポの今後がわからなかったこと等もございまして直近で調査の対象となっておりましたが、正規視察への対応を取り組みとして記載したものでございます。完了となっておりますが、今年度も大会期間や用具、また大会役員等の調査がございまして、来年夏頃に予定されている大会の開催の正式決定後はいよいよ具体的な取

り組みが増えてくるものと見込まれております。

本計画は 2030 年までの計画でございまして国スポを重点施策としていることから、実施計画の見直しが今後必要で、項目についても追加をしていく考えでございます。

一覧表での説明は以上となりまして資料での説明に移らせていただきます。

松江スポーツコミッション活動報告について資料③をご覧くださいませでしょうか。まず、大会開催支援についてでございます。令和 7 年度から本格的に大会支援を開始し、これまでに 4 大会で連携事業を実施いたしました。

前回の審議会の際に一部説明をさせていただいておりますが、本年 8 月にも OKI 愛 LAND えがお CUP での実施を予定しているところでございます。

2 に書いてあります支援内容についても、前回説明させていただいた昨年 7 月に開催いたしました八幡カップシニアバスケットボール交歓大会での実績が、1 ポツ目から 3 ポツ目となっております。

前回審議会以降で 2 大会、松江城マラソンとレディースハーフマラソンで観光連携事業を実施しております。こちらは、おもてなしクーポンの配布、観光施設文化施設、飲食店の割引等でクーポンを配布して市内周遊の促進を図ったところでございます。松江城マラソンではそれに加えて、おもてなし足湯ブースの設置を行ったところでございます。

この、おもてなしクーポンについては市内飲食店、また観光施設への誘客にも繋がっているところでございますが、利用実績については、クーポンを見せて特典を得るという形のものであるため、各店舗での利用者数の集計が非常に難しく、成果ですとか経済効果を数値化することが課題となっております。

方法について電子化するとか、もぎりタイプにする方法などが考えられますけれども、利用者の利用のしやすさ、また費用面、店舗の集計のし易さ等を勘案いたしまして、検討し実績として数値が出せるよう改善していきたいと考えております。

利用実績ではありませんが、松江城マラソンの際に参加者アンケートを行っており、クーポンの認知率については 86%。アンケート実施者の約 6 割の方がクーポンを使用した、または使用する予定と回答しているところでございます。

続いて大会合宿の誘致についてでございます。令和 7 年には学生スポーツの合宿遠征を取り扱っております関西圏の旅行代理店 9 社を訪問いたしました。その結果、1 件について現在も大会実施に向けた調整を継続しているところでございます。今後は競技団体や大学、また高校への誘致活動も検討していこうと考えております。

続いて松江スポーツボランティアバンクについてでございます。こちら令和 8 年 3 月に創設いたしまして、市内のスポーツイベントを支える人材の確保と育成、スポーツ大会等の運営支援を目的として運営しているものでございます。

スポーツボランティアバンクでは、ホームページを活用した募集情報の一元化により、登録者が参加しやすい環境を整備し、また会員証や記念グッズの配布、スキルアップ研修、

参加回数に応じた特典制度など、継続して活動していただける仕組みづくりを進めております。先程も申しましたが現在登録者数は22名となっております。チラシを2枚目に添付しております。

また、皆様におかれましても周知にご協力をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

こちら松江城マラソンアンケートでボランティアを募るスポーツ大会の情報提供について問いをしたところ、希望された方が45人おられました。そちらへの呼びかけですとか、今後はスサノオマジックのボランティアとの連携、また松江城マラソン等との大規模な大会との連携、それから高校、大学等への呼びかけを検討して参りたいと考えております。

ホームページについてでございます。こちら今年3月にホームページを開設いたしまして松江スポーツコミッションの活動紹介をはじめ、大会合宿誘致、市内スポーツイベント情報、ボランティア募集などを発信しているところでございます。あわせて、市内スポーツ施設の情報を一元化して競技種目や利用目的から施設を検索できるなど、利用者にとってわかりやすい情報提供に努めております。

今後県の施設、また民間施設なども加えまして、市民利用が想定されるものについて追加をしていく予定としているところでございます。

続いて裏面をご覧くださいませでしょうか。交流ミーティング「だんすぽ」についてでございます。令和7年3月に第1回を開催して以降、今年5月までに7回の交流ミーティングを開催しております。

前回の審議会、11月以降については3回実施しており、前回の5月11日開催の1周年記念パネルディスカッションでは過去最高の69人が参加したところでございます。こちら定期的に開催している効果もございまして参加者の感想や会場の雰囲気から、仲間意識的な感覚が生まれてきており、だんすぽを通じて、意見交換、またマッチングが行われているところでございます。

次回のだんすぽが8月19日になりますが、こちらで事例発表する予定としております。ここで生まれたアイデアを具体化するスキームを確立していくことが課題となっております。

今後の予定でございます。8月2日 OKI 愛 LAND えがお CUP 開催支援、おもてなしクーポンの配布を予定しております。8月19日、だんすぽを開催予定でございます。12月6日 国宝松江城マラソンとなっております。

スポーツコミッションの説明は以上でございます。

続きまして資料の④でございます。

昔の遊び体験会モデル事業についてご説明いたします。この事業については、地域スポーツ協会などの地域団体の皆様と保育施設をつなぐモデル事業として本年度から実施しております。

目的、事業概要については前回も説明したところですのでご一読いただければと思います。中段のところ実施手順についてでございます。

この事業の流れですが、まず、地域スポーツ体育協会と、保育施設の双方に希望調査を行いその結果をもとに、実施可能な地域団体と保育施設をマッチングしまして地域の指導者の方が施設へ出向いて体験会を実施する仕組みとしております。

事業実施状況でございます。今年度の希望状況でございますが、地域スポーツ体育協会からは3地区。保育施設からは22施設の応募がございました。その結果マッチング状況としまして津田スポーツ協会と津田幼稚園、八束町体育協会と八束幼稚園、城西体育協会と城西幼保園、計3地区でモデル事業の実施を現在進めているところでございます。

事業の実施予定でございます。津田地区においては先日7月13日に第1回の体験会を実施したところでございます。

八束地区については7月28日に第1回を予定しており、城西地区についても現在日程調整を進めているところでございます。各地区とも年間1回から3回程度の実施を予定しております。

先日程行われました津田地区の概要について少しご説明させていただきます。

7月13日に1時間ほど実施したものでございます。会場については津田幼稚園で行いました。実施団体は津田スポーツ協会を中心とした地域住民の皆様6名の方に指導をしていただきました。参加園児については年長さんが9名、年中さんが5名、計14名を対象としております。

実施内容については、遊びの中から紙風船を使ったものと大縄を使ったもの、それからけんけんぱの3種類実施したものでございます。道具についてはスポーツ振興課で用意させていただきました。

全体の感想としては非常に好評でございましてこどもも大人もすごく良かったという声が出ております。園児の方も楽しかったという声が多く上がったと聞いております。先生方のサポートも手厚くしていただいたというところで、園児の方も取り組みやすかったというところがございました。

今後のスケジュールでございますけれども、今年6月からモデル事業を実施し、今年度末2月のところで地域スポーツ、体育協会、市地域スポーツ協会連合会理事会でこの事例について共有させていただき、参加されなかった地区の方にも知ってもらい、こういった事業かわからないといった不安感について多少でも減らしていけたらと思っております。

昔遊びについての説明は以上となります。

続いて資料の⑤スポーツ体験会のモデル事業でございます。この事業は児童クラブや放課後こども教室と地域で活動するスポーツ団体や民間スポーツ事業者をつなぐモデル事業として本年度から実施しております。

目的と事業概要についてはご確認いただければと思います。

実施手順については昔の遊び体験会と同様のスキームとなっております。

事業実施状況でございます。今年度の希望調査では児童クラブ、放課後こども教室から25団体、スポーツ団体からは11団体の参加希望がございました。このうち4団体については民間のスポーツ事業者となっております。

現在は15の児童クラブ放課後こども教室と、11のスポーツ団体とのマッチングができており、各施設において年間1から3回程度の体験会を予定しているところでございます。

今後のスケジュールについては、こちらも年度末のところで松江スポーツ協会理事会で事例を共有させていただき、活動の拡大につなげていきたいと思っているところでございます。令和9年度から事業本格実施を考えております。

続きまして資料の⑥でございます。

市民が身近な場所で運動できる環境づくりについてご説明いたします。

本取り組みは市民の皆様が、日常生活の中で、気軽にウォーキングやジョギングに取り組める環境を整備し、運動習慣の定着につなげるというところを目的としております。

一つ目は、身近な場所への距離表示についてでございます。

概要状況は前回審議会でのご説明と変わりませんのでご確認いただければと思います。

中段のところ、新たに実施する箇所についてでございます。今年度について市役所前からしんじ湖ボウル前までの約3.5キロメートルの区間につきまして新たに距離表示を行う予定としております。

今後につきましても、市民の利用状況、ニーズを踏まえながら、整備箇所を検討していきたいと考えております。

続いて2のウォーキングマップの作成についてでございます。現在、市内各地区では、健康づくり活動や地域行事の中で活用されているウォーキングコースがありますが、その情報が地域ごとに分散している状況でございます。そこで各地区ですでに作成されているウォーキングマップや各種イベントで利用されているコースを整理いたしまして、市民の皆様が利用しやすいよう、市のホームページで紹介していきたいと考えております。このマップでは、コースの距離だけではなく、駐車場やトイレなどの便利施設、景観や歩きやすさなど、それぞれのコースの特徴もあわせて紹介して、市民が目的に応じてコースを選べる内容としていく予定でございます。現在各地区のおすすめコースをすでに取りまとめておりまして近々ホームページで公開する予定としております。全体で61コースとなっております。

裏面に作成中のマップ例を掲載しております。これは法吉地区のものでございますが、コース中のトイレですとか、見どころについても記載されているものでございます。

説明の方は以上となります。ご意見の方よろしく願いいたします。

○松浦会長

今説明がございました。大変多岐に渡ってのこととございまして、皆様どこをとらえて

いいかお迷いになっていることもあろうかと思いますが、今までの取り組みについて、皆さんからご質問ご意見があればいかがでございませうか。

○福田委員

今ちょっと思い出したんですけど、スポーツ推進委員協議会理事会の時だったと思います。このこどもの遊びを通しての取り組みですけど、お1人だけ質問がございました。

自分たちはいろんなニュースポーツとかいろんな種目を研修を通して学んで、地域に持ち帰って普及をするということを推進しているのですが、単なるこどもとの遊びで終わるのであれば無理に自分たちの関わりは項目から外してもいいんじゃないか、という意見が1つだけ出てたんですね。それで、それをスポーツに繋げていくという、そこら辺のニュアンスといいますか、それを質問されたときに私もドキッとして、特別な具体的な表現で返すことができなかったんです。

今ふっと思い出しましたので報告しておきます。

○松浦会長

何かあればどうぞ、事務局の方で今のことでいかがですか、コメントがあればどうぞ。

○事務局（上山課長）

具体的にこの取り組みがスポーツの普及に直接繋がるころはなかなか難しいとは思っているころですが、前回の議事録とかを確認させていただくと、そういったこどもの遊びを通じてこどもたちの運動能力の向上を目指していく。それが、ひいてはスポーツの普及に繋がっていくものになるんじゃないかというころをもって、この活動を進めているころでございませう。その趣旨も含め、皆さんに周知していければと思います。

○松浦会長

はい。ありがとうございます。他にはいかがですか。

○山縣委員

同じことでよろしいですか。

それでちゃんとこどもたちの発達に合わせたことをしていただけるっていうことで、今見たら紙風船と、縄跳びとけんけんぱ。他に何があるんですかこどもたちの発達に応じた運動能力のどういう内容を考えておられるのか。

○松浦会長

はい、事務局どうぞ。

○事務局（上山課長）

遊びの種類については先ほど 20 種類用意しているという説明をさせていただいたところでございます。

発達状況に応じたというところに即しているかはちょっとわかりませんが、この中から保育所としての希望ですとかこどもの希望というところを勘案して、その前段の話し合いの中で数種類を抽出していくというようなスキームになっております。

例としては 20 種類あり、けん玉、こままわし、だるま落とし、お手玉、新聞紙遊び、先ほどありました紙風船、大縄、けんけんぱ、メンコ、羽根つき。

それから竹馬、シャボン玉、だるまさんが転んだ、ゴムとび、竹とんぼ、鬼ごっこ、缶蹴り、てんか、スリッパ飛ばし、おしくらまんじゅうの 20 種類です。

こちら、島根県立大学の梶谷先生の監修のもとでこの 20 種類を整えたところでございます。

○松浦会長

いかがですか。

○山縣委員

いや、あんまりこどもの発達にシャボン玉、うーん...とか思うところもありますけど、その中から自分たちができそうなものを選ぶんですね。

○事務局（上山課長）

はい。そういうことでございます。

○山縣委員

いやもう、本当に現実にちゃんとこれができるようにしていただいただけで本当に満足なんですけど、私としてはすごいなと思って読ませていただきましたので、何となく体協の方でも指導ができそうな内容なんです。

○事務局（上山課長）

はい。私もわからない遊びもあるのですが、この監修していただいたものはマニュアルとして残っておりまして、これを見る限り、ちょっと読み込めばできるかなっていうように感じているところでございます。

ちょっと実際に私もやっていないので、できるとははっきり言えませんが概ねできるかなと思います。

○山縣委員

こままわしは技術要りますからね。

○事務局（上山課長）

こまは私ちょっと得意ですので、できるかと。〔一同 笑〕

○山縣委員

そうすると幼児教育の方はどのような関わり方をされるんですか。

○松浦会長

はい。ちょっとお待ちください。幼児教育、今のことについて西村副会長何か。

○西村副会長

はい。遊びがスポーツに繋がるというのはなかなか感覚としては違うかと思うんですけど、率直に言えばスポーツは遊びなので、遊んでる中のところ、さらにもっと楽しくということでルールを作り、公平な条件で競い合うっていう事を整えていったのがスポーツです。

遊びでまず体を動かしていただくとか、友達と触れ合うこととか、そういった中での社会性ですとか、そういったものを養っていただければ、やがて何か自分の好きなスポーツに出会った時に、すっと入っていけると思うんですよね。

幼児教育の観点から言いますと、幼稚園教育の中では何をやるのというのと、これ、授業みたいにやっているとありますが基本的には遊んでももらいますこどもたちに。

遊びの中でいろんなことを学んでもらう、遊べる環境をつくるということが一番幼稚園の先生に求められることですので、この昔の遊びですとか様々なニュースポーツに関わっていただく皆さんにも、ご自分の得意な種目でこどもたちに遊んでもらう、そういう場を提供していただくと、その中のところで体を動かす楽しみですとか、友達と一緒に遊ぶ、触れ合って社会性を身につけてもらうことができるんじゃないかなというふうに思っています。

近年、こういうのばかり（ゲームの仕草をされる）でこどもたち外に出ないですし、暑くなってなかなか外に出にくい状況にもなっていますので、そういう環境を提供することは昔以上に大事だと思います。我々は近所のがき大将と、お姉ちゃん、お兄ちゃんたちと遊んだりとか、自分たちが下の子と遊んだりとか、そういう環境が自然にあったんですけれども。

今は残念ながら公園で、あれもだめこれも駄目っていうふうにせざるをえない状況ですので、そういう環境を提供する上で非常に有意義な活動になっていると思います。

○松浦会長

はい。ありがとうございました。

○山縣委員

それで私が聞きたかったのは、学生さんとここの体協さんが行かれる幼稚園、保育園のところとのマッチングの仕方は、どういう形で来ていただけるのか聞きたいのですが。

○松浦会長

事務局のほうで説明をお願いします。

○事務局（江戸）

失礼します。スポーツ振興課の江戸と申します。

私の方から簡単にスキームの方をご説明をさせていただきます。

今、このマッチングということで地域スポーツ協会を中心とした地域の皆さんと各地区の保育施設の皆さんとマッチングをさせていただいているわけですが、地区によっては地域のスポーツ協会の指導者の数が足りないとか、大きく体を動かすお手本ができないから若い人の力が欲しいとか、そういったことが想定されると思っていますところでございます。

まずは地域スポーツ協会と、保育施設とで打ち合わせをしていただく中で、是非ここは学生さんの力が欲しいというような話が出れば、打ち合わせシートを作らせていただいているのですが、その中で学生指導者を希望するというような欄があり、そこにチェックをしていただくと当方で大学と調整をさせていただいき、学生さんを派遣できるような流れを作ればというふうに今考えているところです。まだそこまでの形にはできておりませんが、今後大学とも相談をさせていただきながら、学生の皆さんもその指導の場に参加できるような環境を整えていきたいと考えております。

○松浦会長

よろしいでしょうか。はい、西村副会長。

○西村副会長

そこで大学の方としても、今までは閉じた形で大学独自の形で動いていたのですが、県立大さんは幼児教育のコースがありますし、我々は基本小学校以上の教員養成のコースがありまして、そこでも積極的に外と関わっていこうということで、例えばうちの学部ですと、体験活動というので学校が中心ではあるのですが、それ以外の地域の公民館などから学生に手伝って欲しい活動を公募いたしまして、学生がそれに行くと、卒業要件の時間数になっていくんですね。そういうのもありますので、うまくそれとマッチングしていた

だけると、学生も積極的に行くような仕組みを大学でも整えてますので、是非ご利用いただければと思います。

○松浦会長

よろしいですか。それでは次は何かあれば。はいどうぞ。

○今井委員

すいません初参加で、よくわからないうちに発言するのもあるかと思うんですけど、先ほどのお話とかは、このことをすることによって、こういうことが見込めます。とか、こういうところに繋がります。とか、みたいなことが、一つ一つの競技が大学の先生たちと一緒にちゃんと決めたものなので、こういうことの効果を見込んでこれがあるということが多分あると思うんですよ。

それが地域の皆さんにも共有して、指導する方もそれを目指してお話をするというようなことがあるとお互いに理解でき、そこに向けてこどもにお話できるっていうことはあるのかなあというふうに思いました。

スポーツコミッションにも私参加してるんですが、ちょっとよくわからなくてですね。推進計画も見せてもらったんですけど、大きな概念があって、それでスポーツのレベルの向上、競技レベルの向上であったり、触れ合う、触れるということ始めるということ。初心者の方に対してのアプローチ。それも大人もこどももあって、それ今の小さなこどもたちみたいな特化したものもあると。

またプラス、今そのスポーツを応援するとワールドカップとかそういうのもそうですが、応援するというのが一つの文化と一つの産業になってるところが明確になってきているので、そこに対するアプローチをどうするかみたいな、機運醸成みたいなことにも繋がると思うんです。

そういうのがロジック的に表みたいになっており、それに対してこういうことをやります。これに対してこういうことをやります。その結果がこうで、最終的に目標にしているのはこれで、ここの部分に関しては目標にしているのはこういうことだというような分かるものができたら、僕としてはありがたいなと。

一つ一つはものすごく良いことをやっておられていいなと思いますが、何かそこら辺がちょっと全体像が見えないところがあるので。

○松浦会長

はい。わかりました。スポーツコミッションも今発足して間がないということもございまして、今一生懸命前へ向かって走っておられる。

その中で何か良いものがあれば育てていきたい。一生懸命やっていただく、その中で得るものが出てくると思います。そういう部分を需要に合ったものを作っていく。そういう

のも一つの方法じゃないかと思います。今井さんはそういう面では専門家でございますので、A Iに聞く前に一度やってみられたらいかがでございますか。

皆さんありがとうございます。他何かあればどうぞ。よろしいですか。はいどうぞ。

○高梨委員

すいませんまた昔の遊び体験についてですが、すごく良い取り組みだと私は思っています。現状見る限り、指導をされる方が地域のスポーツ協会の指導者の方が主体で、希望の幼稚園が22施設あって実際に手を挙げられた地域スポーツ協会が3つだったということで、そのアンバランスが多分生まれてるんじゃないかなと思っています。

何かこう、地域のこども会であったりとかイベントとか、また市内の施設とかで、やりたいと思うんですが、今後の展望も含め何かご教示もいただきながらこういう昔の遊び体験を出張型もやり、並行して施設に来ていただいた方とかイベントに来ていただいた方に、そういうブースを設けて実施するという事は可能なんでしょうか。

○松浦会長

はい事務局どうぞ。

○事務局（上山課長）

この事業を創出するに当たっての議事録等々を読むとイベントとして開催してもなかなか人が集まりにくいというご意見があったように記憶しております。

それがゆえに、各所に出向いて出張があったところでまずは触れ合う機会を積極的に作っていく、というところの取り組みでございます。

おっしゃられるようにこれが定着してきて周知が行き渡れば、そういったイベントを開いても参加者が増えてくるのではないかなと思っています。そういうところの検討もあわせ今後進めていけたらと思っています。

○高梨委員

はい。ありがとうございます。

○松浦会長

他にはいかがでございますか。はいどうぞ安部さん。

○安部委員

はい。資料②の19番なんですけども、大運動会でフライングディスクを活用した競技というふうに書いてありまして、このフライングディスクをやるというのを始めて見たのですが、どうしてフライングディスクにしようとしたのかという点と、どういうふう

いきなりやれっと言っても年配の方はフリスビーとかご存じの方があると思いますが、どのように進めようとされてるのか教えていただければと思います。

○事務局（上山課長）

はい。今回大運動会の種目を検討するにあたり、2030の国スポ全スポも控えておりまして、その中の松江市での開催競技の中にフライングディスクの競技種目がございます。

私も先日、障害者スポーツ大会でちょうど安部様と一緒にになりましたが見学させていただき、フライングディスクというものも競技性があって面白いなというところを感じ取り、話し合いをする中で、ちょっとやってみようかというところがきっかけとなったものでございます。

私も何回か投げてみましたが、実際、精度を上げていくっていうところは何回も練習しないと難しいと思いますが、投げることにしてはそこまで難しくはないかなというところで、皆さんに体験していただき国スポ全スポへの機運醸成も含めてやっていければというところで、今回大運動会の種目に取り入れたものでございます。

○松浦会長

はい。ありがとうございます。他にはいかがでございますか。はい。どうぞ。

○今井委員

国スポ全スポはここ数年で盛り上げていくと思いますけど、ものすごいチャンスですよ。このチャンスの中で、コミッションも含めてどういうことをしていくのか、どういう結果を求めていくのかみたいなものがあれば教えていただきたいのと、先ほどの資料②のご報告の中でもその話があって、これから情報集めて検討するというお話でしたが今現状のところの状況はどうでしょうか。

○松浦会長

貴重なご意見ありがとうございます。時間の都合もございますのでこの件につきましては、後ほど事務局より回答することとさせていただきたいと思います。

湯町さん、松江スポーツ協会でいろいろ計画があるようでございますが、特にこどもさんのスポーツについて少しご紹介いただけませんか。

○湯町委員

はい。この計画にも載っておりますが、こどものためのスポーツ見本市ということで私どもに加盟しております30団体に声をかけまして、いろんなスポーツを体験していただ

くことを今年9月に予定しております。

今ですと、一つの競技に専念してしまうことが多いですが、そうではなくて、よく会長も食わず嫌いということを言われますが、いろんな競技を体験してみて心身の調和のとれた発達を目指していこうと。

例えば野球とかサッカーをやっている子がいますけど、なかなかそこではスターにならない子も、全然違う競技をやったら案外できるかもしれない。

去年は、なかなか触れることできない、フェンシング協会も出ていただき、いろんな経験をさせていただきました。

非常にご好評いただいております、今年3回目ということになりますが、総合体育館が今年改修工事をしております。そのオープニングイベントの中で実施をさせていただくということになっております。

9月20日日曜日に実施する予定にしております。またお声がけとお知らせをしていただければ喜びます。よろしくお願いいたします。

○松浦会長

はい。ありがとうございます。

もう迫ってきてるようでございますがいかがでございますか。これほどは言うておきたいということがあれば、私が総体的にまとめるつもりはございませんが、こうしてスポーツ推進審議会でいろいろ皆さんと意見交換をしていると、町全体の地域住民の皆さんの地域の力をパワーアップする。それがやはりスポーツを通してのみならず、文化にしる何にしる、ネットワークを広げていくという大きな力になってるような気が私はしているところでございます。

そうすると何か私どもがやってるのは価値が非常に高いものを狙っているのかなというような気がせんでもないですけども。

その辺は専門家がおられます。西村先生、ちょっとお話いただけませんか。

○西村副会長

はい。本当に感想と意見になるんですけども、特に先ほどもありました昔の遊びですとかスポーツ体験ですね。

こういうのは全部が市がやられるわけじゃなくて、地区のスポーツ協会の方々ですとか、うちの学生とか、それぞれの皆さんとうまく市が間を取り持ってやっていただけているということが素晴らしいなと。

こどもたちがいろんな種目ですとか遊びに触れ合っていく中できっと、次のスポーツのイベントに対しても、さらに興味を持って参加してくれるんじゃないかなというふうに思ってます。

スポーツ推進計画のところでやはり市が、先ほど言いました方からもあったように、う

まく示していただいて、そこにどう関わっていったらうまくいくのかというのが見えればいいのか。そういった意味ではこのK P I とかがしっかり出ているこの表はすごくいいと思います。

これが本当に1枚のよくあるような、ポンチ絵みたいなところでさらに見やすいものが提示できると一般の方々にもわかりやすいのかなあというような感想を持ちました。

それと先ほど出た、以前も私の方からも意見を出させていただいたマップとか、あと距離表示のこととか、どんどん進めていただいてありがたいなと思いますし、先ほどちょっとマップも見させていただいたんですけれども、こういうものがこれからもいろんなマップを集約していく中のところで、どれくらい市民の皆さんに知っていただけるのかなと広報の部分が次の大きな鍵になってくのかな。

スポーツコミッションの方も綺麗なホームページが立ち上がっていて、ミーティングの様子がすごくわかってるんですけれどもこれをどれくらいの方が見ていただけてるのかというのが、そこをちょっとチェックしていく必要があるのかなと。

近年ですと、依頼をすればアクセス数は分析することができるといいますので、そういったところに予算を取っていくということも必要なのかなと思いますのと、あまり出てこなかったSNSの活用ですね。

インスタやフェイスブックやそういったところにも我々が発信するだけでなく、口伝えで参加した方にどんどん発信してね、というような流れをもっともっと生み出す必要があるのかなあという感想を持ちました。

次年度のところまたさらにですね、そういったところも進められるとよりすばらしいものになるのかなというふうに思いました。

あと1点だけちょっと個人的にも気になっているのは、全部の表の中のところで5番ですね。部活動の地域展開。

去年の年末に新しいのが出て、それまでのところで県と市の方でも大枠は出しているのですが、やはり我々スポーツ関係としては部活がなくなるというのは、もう日常的に活動できる場がなくなるということなので、おそらくすごく減退するだろうなと。

先ほどの遊びの場と同じように、部活がなくなると普通にスポーツに親しんでいた環境というものが一気になくなるだろうなという危機感を持っていて、松江市もすごく広いので、この中心部と周辺部ではもう政策は変わってくると思うんですけれども、こういったところも是非とも推進計画の中で多少なりとも発信していければなど。

そうですね。せっかく、上田先生にも参加いただいているので、そういったところも次回に向けて進めていただければなどということをお伝えして、私の感想とさせていただきます。

○松浦会長

はい。どうもありがとうございました。

これだけはぜひ言っておきたいということがあれば皆さんいかがですか。よろしいですか。はいそれでは時間も迫ってきましたが、私が最後に一つお願いをしておきたいことは、大変今こどもさんの数が減ってきて、スポーツへの取り組み、挑戦する方々が非常に少なくなってくるような傾向があると思っています。

それを何とかして食い止めたいなという部分もありますし、種目によっては一つの学校で、そのチームができなくて、あっちとこっちと一緒にあったりドッキングしたりそれで人間関係がさらに増えるのはありがたいことなんですけれども、実際には、ある学校へ向かって行こうと思うんだけどそこにはスポーツのこういう種目がない。それじゃよそへ行こうとかですね。

いろいろ話をすると長くなりますのでこれぐらいで置いときますけれども、大変今、混乱というか、選択肢が非常に増えて、困ってらっしゃる時代かなと思っています。皆さんにおかれましてはそれぞれの立場で十分ご理解をいただく中、次の回にはまたご意見をいただきたいと考えておるところでございます。

予定の時間若干オーバーしましたけれども、私の役割はこの辺で大変スムーズに進めていただきまして皆さんのご協力に、感謝をして、立場を終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

○事務局（昌子係長）

松浦会長には、円滑な議事進行いただきありがとうございました。

ここで事務局の方から1点事務連絡をさせていただきます。本日の会議について事務局の方で議事録を作成いたします。作成した後に委員の皆様にお送りをさせていただきます。記載内容について皆様に確認をいただく予定としております。よろしくお願いいたします。

それでは閉会にあたりまして文化スポーツ部長の加納よりご挨拶を申し上げます。

○事務局（加納部長）

今日のご出席いただきましてありがとうございました。

皆様から様々なご意見を伺いましたので、スポーツ推進計画は6年の計画です。その中の取り組みに反映させていただき、少しでも進化していけるようにと思っています。

モデル的に取り組んでみて軌道に乗ればそれを本格的にやっていこうというような取り組みもございますので、最初から成功するものばかりではないと思いますが、毎年毎年いろんな工夫を加えながら着実に計画を前に進めていければと思っていますので引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

委員の皆様には来月8月28日が、任期となってございます。2年の任期でございましたけれどもこの間大変お世話になりました。次の改選につきましては、改めてこちらから

ご連絡を差し上げたいと思います。

本当にこの２年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

○事務局（昌子係長）

それでは以上をもちまして令和８年度第１回松江市スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

〔11 時 09 分 閉会〕